

2026年8月13日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概 要

全国景気※	緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある
長野県内景気	生産面を中心に底入れの兆しがみられる
5月の生産動向	生産は底入れの兆しがみられる
6月の個人消費	乗用車新車販売台数は2カ月ぶりに前年を上回る
6月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る
6月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を上回る
6月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を上回る
今後は、中東情勢の悪化に伴う資源価格上昇や供給面への影響について注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2026年7月)」より

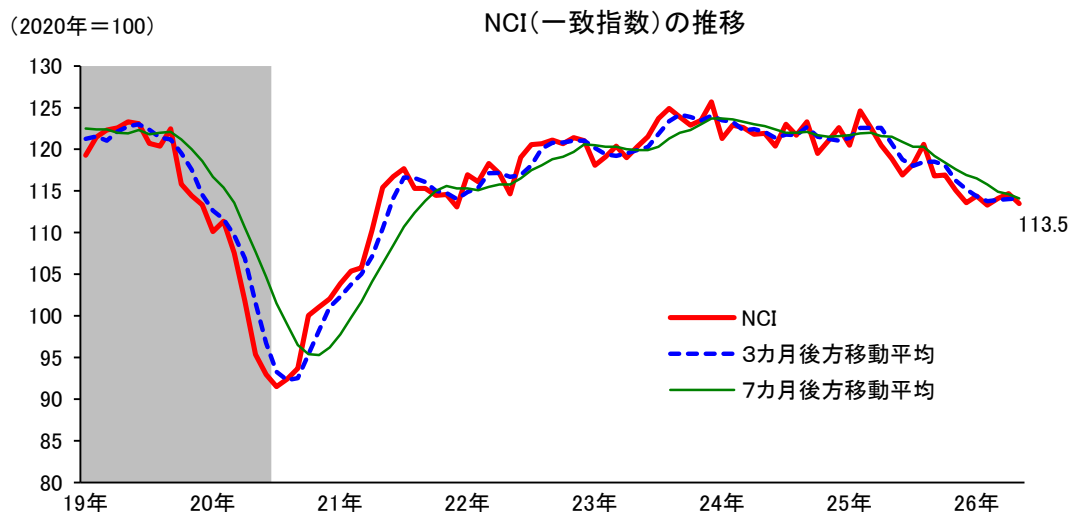
照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部
担当 桑井、須田
電話 026-224-0501



景気動向指数

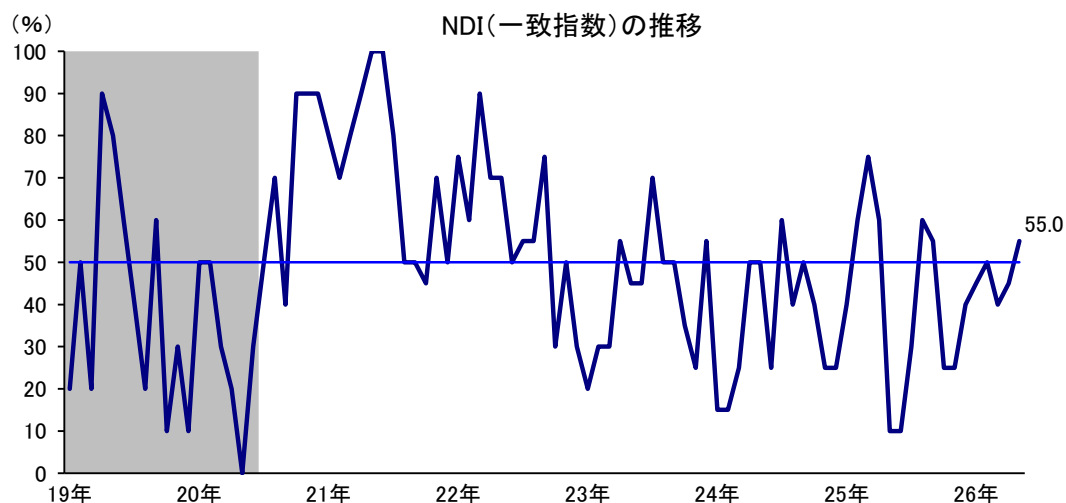
- ・5月のNCI(一致指数)は、113.5と前月と比較し△1.2ポイントとなった。3カ月後方移動平均は、同+0.1ポイントと3カ月連続で上昇した。7カ月後方移動平均は、同△0.5ポイントと9カ月連続で低下した。これを機械的な基準に当てはめた結果、NCI(一致指数)は、悪化を示している。
- ・NDI(一致指数)は、55.0%となり、景気判断の分かれ目である50%を8カ月ぶりに上回った。



(資料) 当研究所「長野県景気動向指数」

(注) 1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す

2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



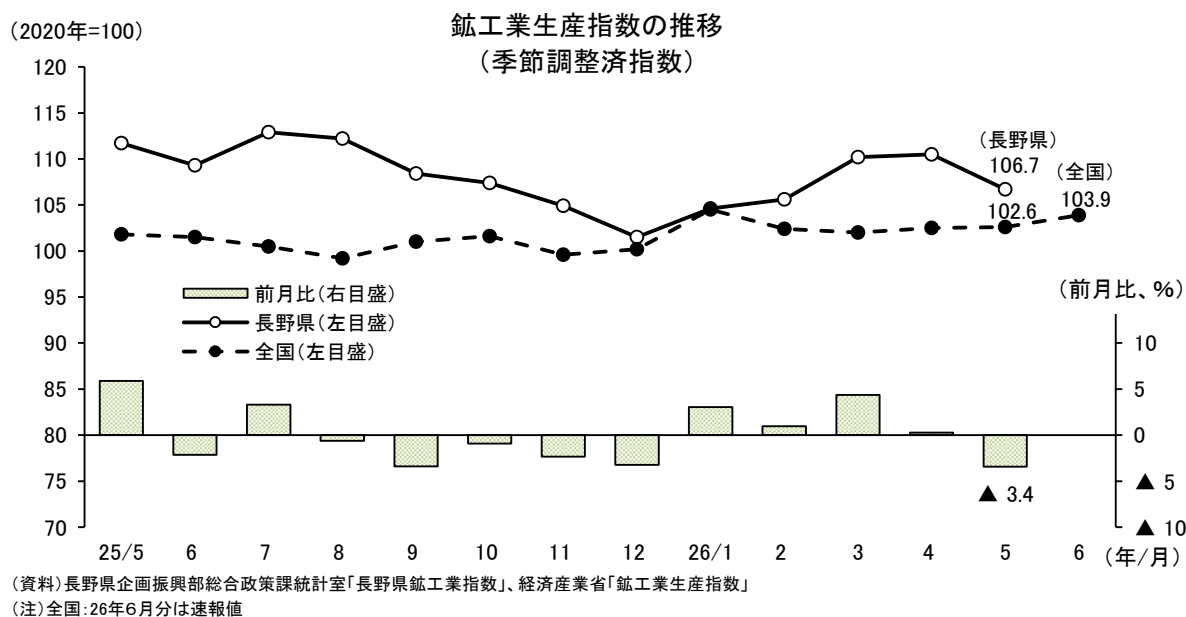
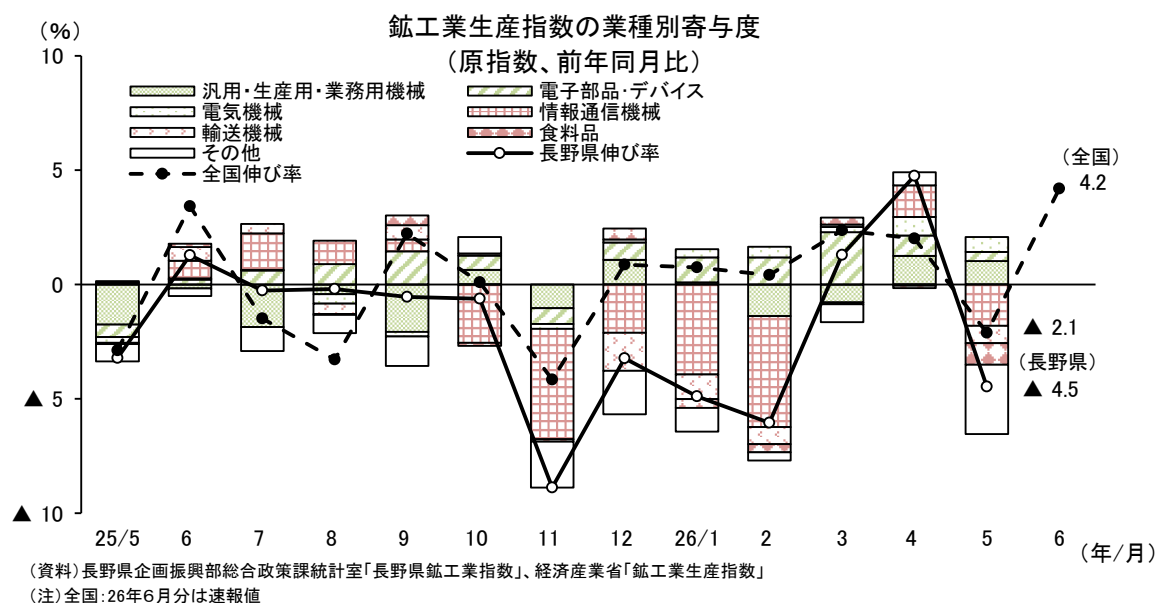
(資料) 当研究所「長野県景気動向指数」

(注) 1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す

2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

生産は底入れの兆しがみられる

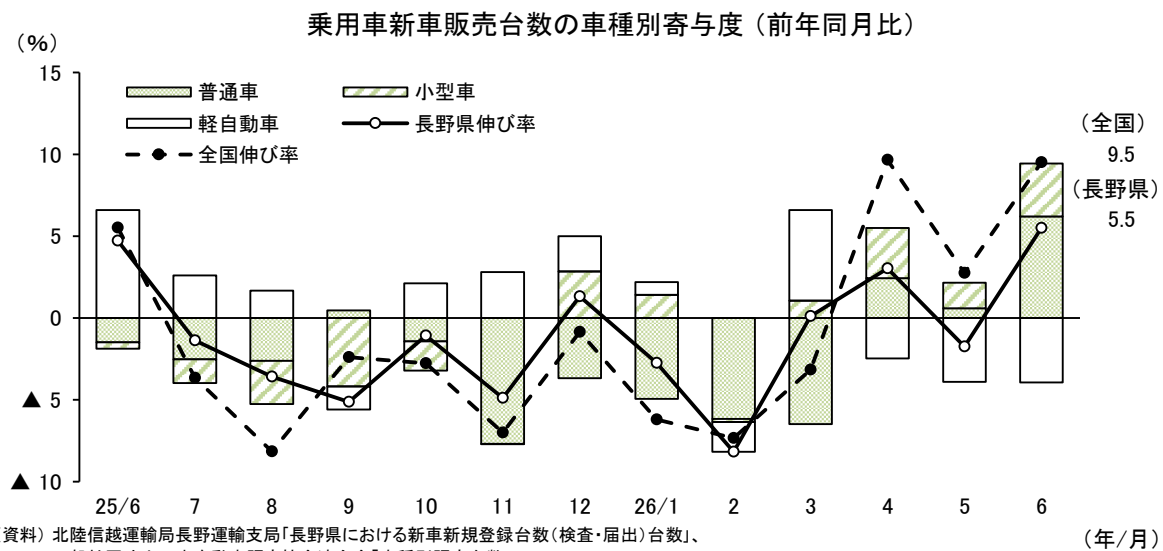
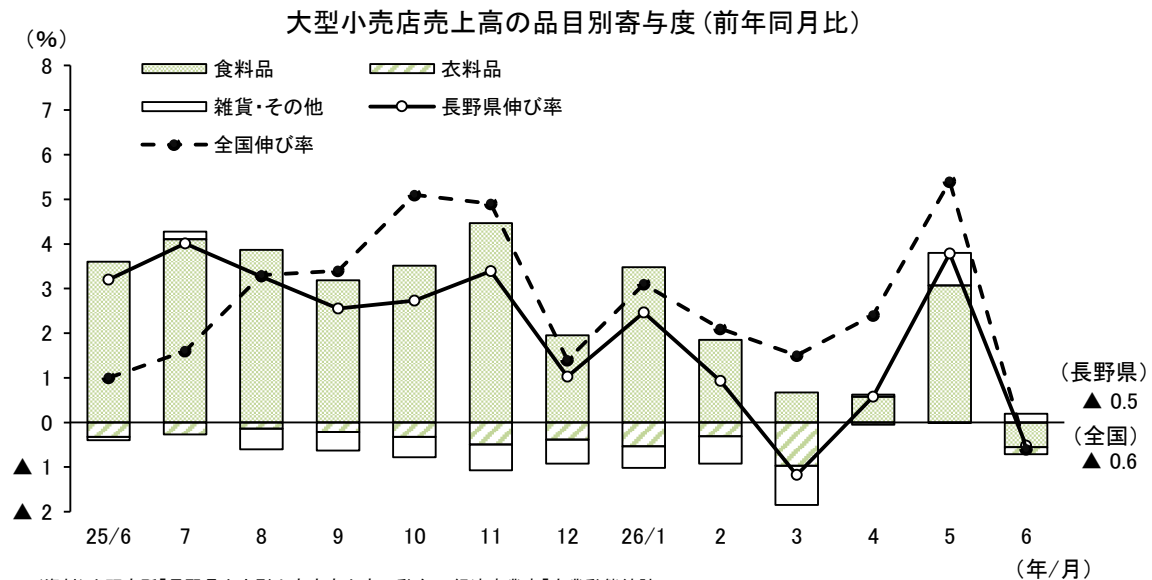
- ・5月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△4.5%、季節調整済指数が前月比△3.4%となった。
- ・季節調整済指数は5カ月ぶりに前月を下回ったほか、原指数も3カ月ぶりに前年を下回った。前年のパソコンのOSサポート終了に伴う駆け込み需要の反動が一部にみられるものの、人工知能(AI)サーバー向けの部品などを中心に増産の動きが続いていることから、生産は底入れの兆しがみられる。
- ・主要業種別にみると、「汎用・生産用・業務用機械」「電気機械」などが前年を上回ったものの、「情報通信機械」「食料品」などが前年を下回った。



個人消費

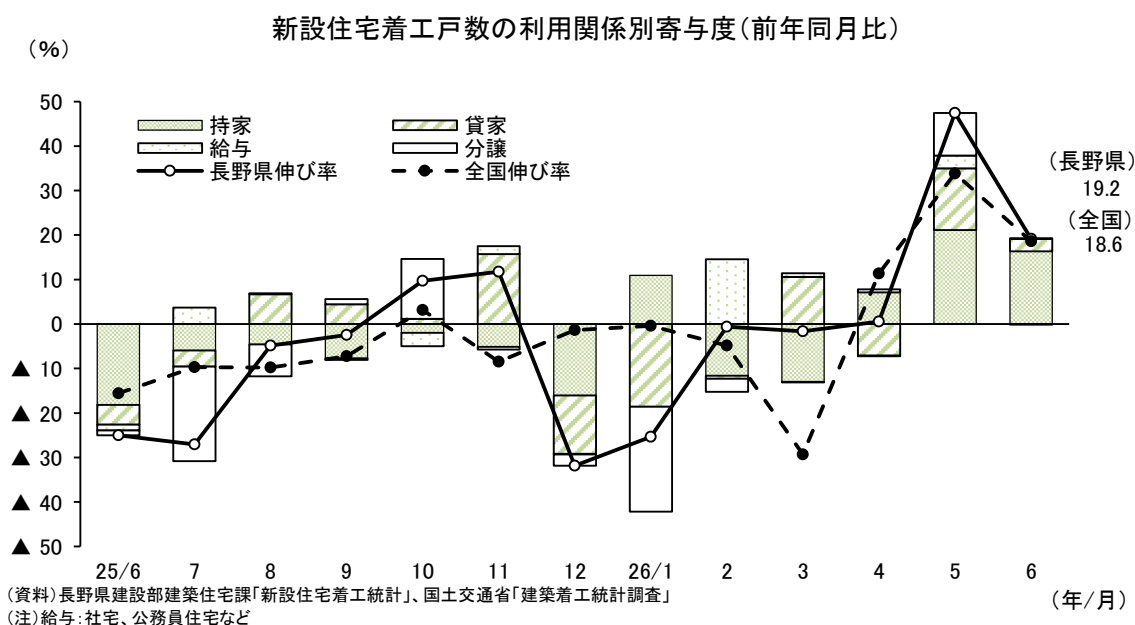
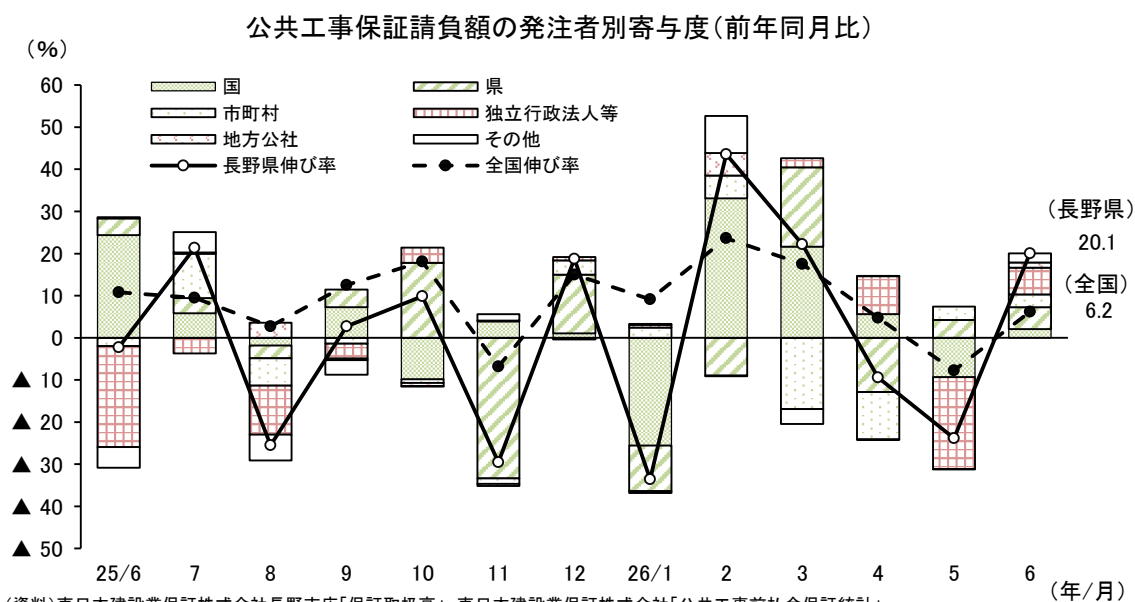
乗用車新車販売台数は2カ月ぶりに前年を上回る

- ・6月の大型小売店売上高は、前年同月比△0.5%（売場面積調整前）となり、3カ月ぶりに前年を下回った。食料品は、コメの販売価格の下落などにより、同△0.7%となった。衣料品は、物価上昇による節約志向が続いていることから、季節衣料を中心に販売が低調で、同△4.2%となった。雑貨・その他は、化粧品等が持ち直し、同+1.7%となった。
- ・6月の乗用車新車販売台数は、前年同月比+5.5%と2カ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同△8.5%と3カ月連続で前年を下回ったものの、普通車は同+17.8%と3カ月連続で、小型車は同+17.2%と4カ月連続で、いずれも前年を上回った。



公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る

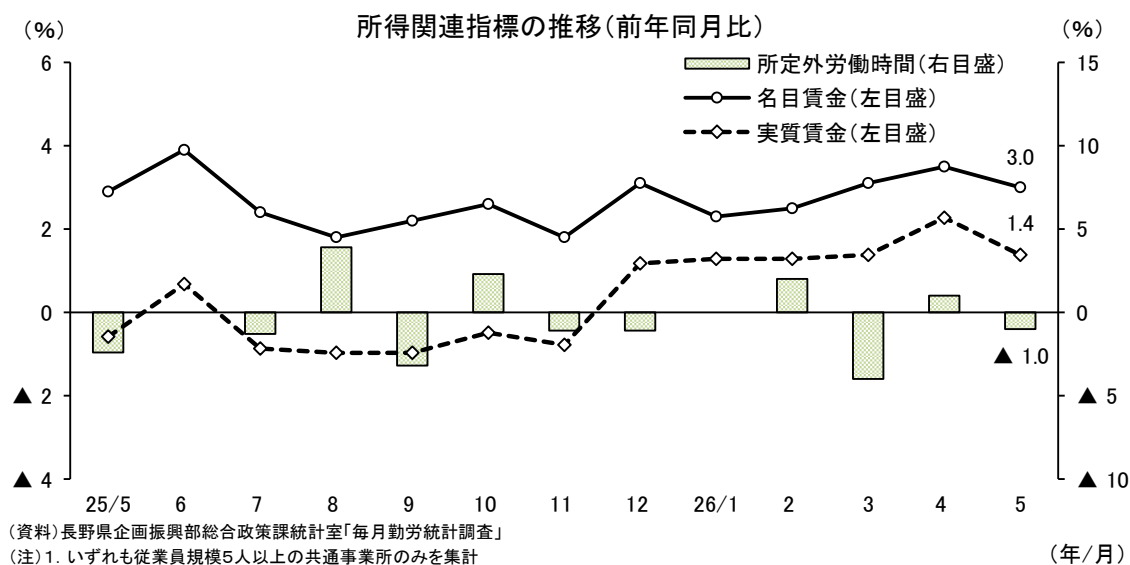
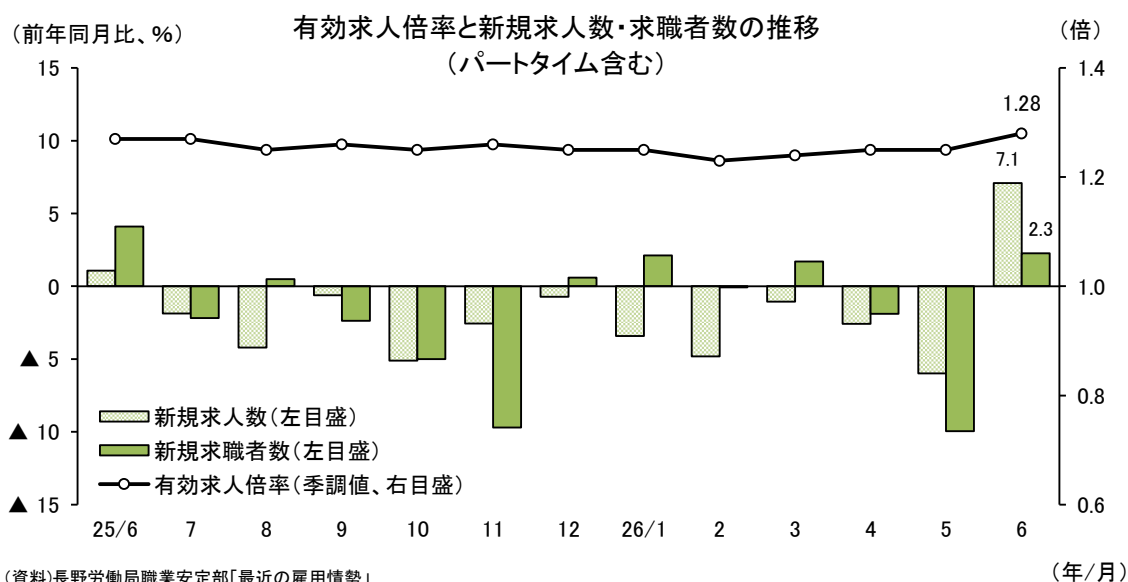
- 6月の公共工事保証請負額は、前年同月比+20.1%の291億6,100万円となり、3カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国が同+4.6%、県が同+24.4%、市町村が同+9.4%、独立行政法人等が同+714.9%、地方公社が+217.9%、その他が同+431.4%といずれも増加した。
- 6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+19.2%の889戸と3カ月連続で前年を上回った。利用関係別にみると、給与が同△50.0%と減少したものの、持家が同+32.9%、貸家が同+7.6%、分譲が同+1.0%と増加した。



雇 用

有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を上回る

- ・6月の有効求人倍率は、前月比+0.03ポイントの1.28倍となり、2カ月ぶりに前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比+7.1%となり、12カ月ぶりに前年を上回った。このうち常用は同+3.4%、パートは同+5.8%となった。主要産業別では建設業が同+17.0%、サービス業が同+15.7%、製造業が同+14.1%となるなど6産業は前年を上回ったが、不動産業、物品賃貸業が同△11.0%、生活関連サービス業、娯楽業が同△7.4%、宿泊業、飲食サービス業が同△4.3%となるなど7産業は前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+2.3%と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・5月の名目賃金は前年同月比+3.0%と61カ月連続で前年を上回り、実質賃金は同+1.4%と6カ月連続で前年を上回った。所定外労働時間は同△1.0%と2カ月ぶりに前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は東信及び南信で前年を上回る

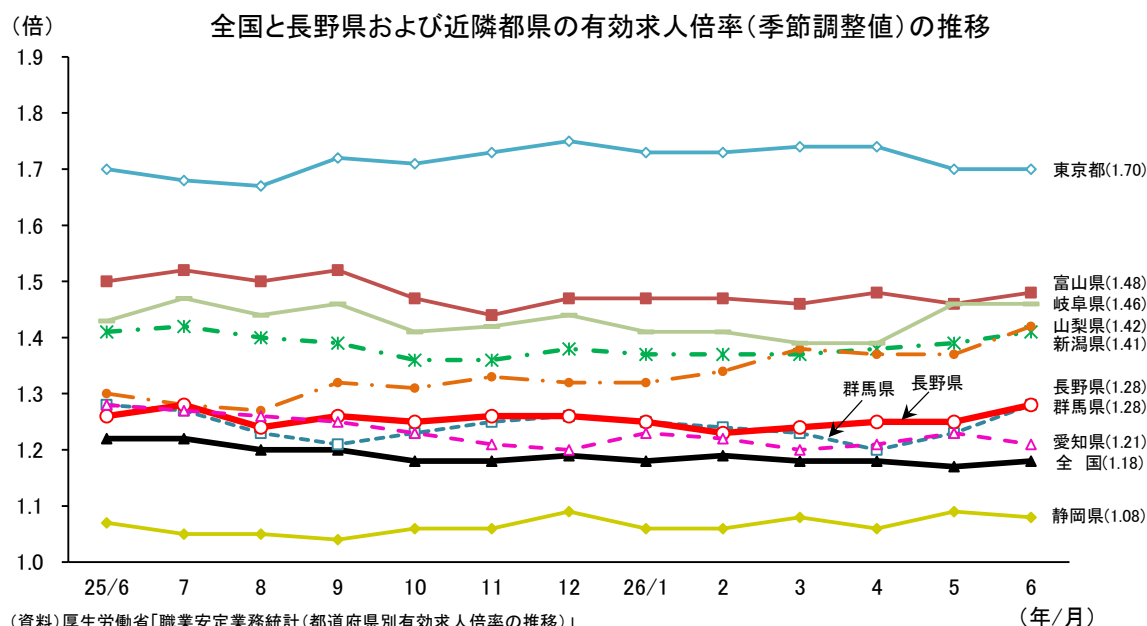
- ・6月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月と変わらず1.12倍、東信が同+0.04ポイントの1.25倍、中信が同△0.04ポイントの1.20倍、南信が同+0.04ポイントの1.25倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、木曽福島が1.31倍と最も高く、次いで佐久及び伊那が1.27倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は69カ月連続で全国を上回り、順位は前月から1つ上げ15位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(26年6月)

地 域	北 信(1.12) (前年同月比+0.00)				東 信(1.25) (前年同月比+0.04)		中 信(1.20) (前年同月比▲0.04)			南 信(1.25) (前年同月比+0.04)		
職業安定所	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曽福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.23	0.96	1.05	1.07	1.23	1.27	1.20	1.31	1.16	1.23	1.27	1.25
前年同月比 (ポイント)	+ 0.06	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.11	+ 0.08	+ 0.00	▲ 0.05	+ 0.03	+ 0.03	▲ 0.08	+ 0.15	+ 0.04
うち常用	1.10	0.93	0.99	0.98	1.14	1.23	1.04	1.22	1.10	1.16	1.09	1.15
前年同月比 (ポイント)	+ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.03	▲ 0.07	+ 0.05	▲ 0.01	▲ 0.11	▲ 0.01	+ 0.03	▲ 0.09	+ 0.09	+ 0.02

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県および長野県と経済規模、産業構造が類似している県